

区政会議における意見への対応状況

資料4

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
1	H29.6	佐野委員	<p>(防災)</p> <p>・東野田町のNTT研修センタについて、避難災害の場所にできるのか、それを活用するのも1つの手じゃないか。</p> <p style="text-align: center;">【29年度 第1回区政会議】</p>	<p>・ご意見を踏まえ、津波避難ビルや災害時協力事業所、また、帰宅困難者の一時滞留スペースとしての協力など、引き続き災害時の避難場所としての協力要請を行ってまいります。</p>	③	
2	H29.6	東谷委員	<p>(教育)</p> <p>・(ウェブ交流事業に関係して)英語をしゃべれる、しゃべれないじゃなく、小学生って意外とコミュニケーション能力がない。より、コミュニケーション能力に特化した人との触れ合いをテーマにすれば、もうちょっと表に出て発言する能力がつくのでは。</p> <p style="text-align: center;">【29年度 第1回区政会議】</p>	<p>・30年度は、グローバル化時代に必要なコミュニケーション能力の育成を目的としたグローバル人材育成事業を新たに実施いたします。本事業では、中学生対象の「英対話講座」のほか、小学生を対象とした英語に親しむための「英語体験活動」や異文化理解を深めるためのイベントも開催いたします。</p>	②	<p>【30年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組3-2-1 グローバル人材育成事業(中学生ネパールとのWeb交流事業)</p> <p>30年度予算額 1,494千円</p>
3	H29.6	田中委員	<p>(広報)</p> <p>・(フェイスブックで)区役所側ではどれだけ「いいね」を押しましたか、シェアしましたか。人のつながりと言いながら、つなげようという行動は一切されてないと思う。数じゃなくて誰がしてくれてる、そこに重きを置いて広報的な活動を進めていただければ。</p> <p style="text-align: center;">【29年度 第1回区政会議】</p>	<p>・ご意見をふまえ、各地域活動協議会が発信される地域のまちづくり活動について、まちづくりセンターフェイスブックと共に、都島区役所フェイスブックでも「シェア」して、ご紹介するなど、SNSの特性を活かした”つながり”づくりの広報を進めています。</p>	①	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
4	H29.6	江川委員	<p>(その他)</p> <p>•ここに来て話ができる人たちの意見も大事だが、(以前開催していた)「ぶっちゃけ!都島」のようにいろんなことを吸い上げてほしい。違う意見がいっぱい出て、子育てしてるお母さんとかの意見も集約できる。</p> <p>【29年度 第1回区政会議】</p>	<p>•自由参加型のトークイベント「ぶっちゃけ!都島」は平成25年から、まちづくり、子育てなどをテーマに5回開催し、若い世代をはじめ、幅広い区民のご参加のもと、様々なご意見を頂きました。</p> <p>•ご意見を踏まえ、どのような形になるか分かりませんが、トークイベントの開催を検討してまいります。なお、区長が、地域の皆さんのところにお伺いし、皆さんと直接、区政などについてお話する、「区長と話そう!」を通年で実施しています。地域の集まりやサークル、グループでの勉強会などのご利用をお待ちしています。</p> <p>•つながりの場づくりは各地域活動協議会で取り組んでいただいておりますが、広報誌でも、つながりをテーマとしてコラムで、分野ごとにご紹介してまいります。</p>	③	—
	H29.11	寺川委員	<p>•テーマとして健康、福祉、子どもはいろんな立場の人とつながりやすいテーマである。今マンションがどんどん増えてきていることから、もともと住んでおられた方と新しい方々とのつながりとして、情報共有する場が要るのでは。</p> <p>【29年度 第2回区政会議】</p>			
5	H29.6	辻上委員	<p>(その他)</p> <p>•公園とかでも思いっきり遊べる場所をつくって頂いて、思いっきり子どもたちが好きなことをやって怒られて、いけないことはいけない、もっとこうしたらよかったと反省できるような都島区をつくって頂きたい。もちろん私たち地域、保護者たちも協力するので、行政のできる場所は行政がというふうに手を取り合ってやっていけたらと思う。</p> <p>【29年度 第1回区政会議】</p>	<p>•子どもが自由に遊べる場所が少ないことについては、これまで、区政会議をはじめ、学校協議会などで保護者の方々から、また、さまざまな機会で見守り・生徒さんから、多くの意見を頂いています。</p> <p>•現在、淀川連絡線跡地で、子どものスポーツ・遊び場の場所を一定面積確保したいと考えており、関係局と調整中です。</p> <p>•区内に、活用できる可能性のある土地は多くありませんが、例えば公園でのボール遊びなどが出来る環境づくりなど、地域の関係者のご理解を頂ける範囲内で、場所づくりの検討を進めてまいります。</p>	②	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
6	H29.11	日野委員	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> 都島にずっと住んでいるが、毛馬キュウリを知ったのはつい2、3年前。こんな都会で都島原産の野菜があるってすごくいい。まだまだアピールの仕方があるのでは。 <p>【29年度 第2回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大阪市では、100年以上前から市内で栽培され、大阪の農業と食文化を支えてきた歴史、伝統をもつ野菜を「大阪市なにわの伝統野菜」として、毛馬キュウリを含む9品目を認証しています。区役所でも、引き続き、伝統野菜普及に取り組まれている団体や商店会の取組のご紹介したり、広報誌、ホームページ、SNSなどを通じて、内外にPRしてまいります。 	①	—
7	H29.11	寺川委員	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアベースで進めていく限界もあるかと思うので、どこかでウィンウィンになるような魅力というか仕掛けみたいなものが。コミュニティビジネスを具体的にどうするか、仕掛けとしてどこまで踏み込めるのかというのもこれから重要ではないか。 <p>【29年度 第2回区政会議】 【29年度 第3回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「市政改革プラン2.0(区政編)」では、市民活動の持続的な実施に向けたCB/SB化、社会的ビジネスの支援に取り組むこととしております。 区役所でもまちづくりセンターと連携して、地域団体の皆様にコミュニティ・ビジネスの意義の周知や具体的な事例のご紹介などを進めてまいります。 	②	—
8	H29.12	玉川委員	<p>(教育部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貧困よりも、不登校をどう救っていくかということも考えなければならぬのでは。 <p>【29年度 第1回教育部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市が取り組む子どもの貧困対策の目的は、こどもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自らの可能性を追求できる社会の実現をめざすことです。 不登校には様々な要因があり、学校の中で起こるいじめ等が要因の場合は基本的に学校が対応していますが、区が課題と考えていますのは、貧困等を含む家庭に起因する問題で不登校となっている子どもです。29年度より、区役所にSSW(スクールソーシャルワーカー)を1名配置し、相談があれば子どもの状況に応じた対応をしています。SSWの役割は、福祉的な知識等を活かして学校や社会福祉機関等につなぎ、そのような家庭が活路を見いだせるよう支援していくことです。 30年度以降も引き続き、学校と行政が連携し、不登校対策に取り組んでまいります。 	①	<p>【30年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組3-2-2 SSW(スクールソーシャルワーカー)による子ども相談事業 30年度予算額 3,493千円</p>

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
9	H29.12	田中委員	(教育部会) ・区内には素晴らしい特性を持つ市立高校が4つもある。ぜひ中学校と高校の連携を体制の中に取り込んでいくことを願う。 【29年度 第1回教育部会】	・区内の市立高校と中学校が連携できる枠組みを、校長先生にも相談しながら検討してまいります。	②	—
10	H29.12	日野委員	(健康・福祉部会) ・元気なお年寄りが増えているが、収集できる情報は限られている。可能であれば、区役所の一角にイベント等のチラシを置いてはどうか。 【29年度 第1回健康・福祉部会】	・現在、区役所の情報コーナーには国や府も含め、関係行政機関によるチラシ等を中心に配架しています。 ・スペースに限りはありますが、紙媒体が中心となる高齢者の方々のニーズを踏まえ、区社会福祉協議会など関係公益団体も含めたチラシの配架に引き続き取り組んでまいります。	① ②	—
11	H29.12	森本委員	(健康・福祉部会) ・百歳体操は身体的に健康になるし、コミュニケーションの場として精神的な面でも健康になっていくのではないかと。 【29年度 第1回健康・福祉部会】	・体操に取り組むことで、生活に必要な筋力を維持する効果があるといわれおり、さらに、地域の皆様同士が会館などに出向き、声をかけあうような関係づくりをすることは、精神面での健康や幸福感といったものに良い影響があるといわれています。 ・高齢化が進む中、この百歳体操が介護予防や認知症予防に効果があることが示されており、さらなる展開に取り組んでまいります。	①	—
12	H30.3	玉川委員	(教育部会) ・グローバル人材育成を小学校高学年に拡大するということが、中学校のネパールとの交流で効果をあげている一つの要因は同年代の交流ではないか。初年度からは難しいだろうが、いずれは小学生もインターナショナル・スクール等の同年代の児童と交流できればと思う。 【29年度 第2回教育部会】	・ご指摘頂いたとおり、グローバル人材の育成には、同年代の児童同士の交流も重要であると考えております。 ・30年度の小学生対象プログラムは、英語体験活動と異文化理解を深めるためのイベントとしておりますが、今後、同年代の児童との交流についても検討してまいります。	③	【30年度運営方針における関係取組】 具体的取組3-2-1 グローバル人材育成事業(中学生ネパールとのWeb交流事業) 30年度予算額 1,494千円

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
13	H30.3	南委員	<p>(健康・福祉部会)</p> <p>・このごろあの人見かけないとか、ケアマネとかも連携とってどこかまとめ役をつくってもらわないと、情報が錯綜してしまう。誰かのどこへ情報をまとめるということをつくってもらえたら。</p> <p>【29年度 第2回健康・福祉部会】</p>	<p>・地域における見守りについては、民生委員・児童委員や地域団体などが地域の実情に合わせた見守り活動を展開されています。</p> <p>・また、要援護者の見守りネットワーク強化学業として都島区社会福祉協議会内に設置した見守り相談室や、住民に身近な相談窓口としての機能を担っている地域福祉コーディネーターがごさいます。</p> <p>・個人情報取扱いはは様々な課題がありますが、人のつながりづくりの大切さを呼びかけていくと共に、今後も地域の見守りネットワーク機能の強化に努めてまいります。</p>	⑤	<p>【30年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組2-3-1 地域福祉コーディネート事業 30年度予算額 13,347千円</p>
14	H30.3	森本委員	<p>(健康・福祉部会)</p> <p>・プレ・ワーキングマザーのための出産直前講座について平日の事業になると、お父さん、お母さんがなかなか参加できないので、土曜日とか日曜日に一緒に行ける機会を検討して頂きたい。</p> <p>【29年度 第2回健康・福祉部会】</p>	<p>・従前は、お仕事のため、平日の教室に参加困難な妊婦がおられたことから、26年度から「プレ・ワーキングマザーのための出産直前講座」を土曜日に実施し、妊婦の方だけでなく夫婦での参加も多く頂いております。今後も、事業の効果等を検証しながら、実施日等を設定してまいります。</p>	①	<p>【30年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組2-3-3 母乳育児の推進事業 30年度予算額 729千円</p>
15	H30.3	半野委員 寺川委員	<p>(民泊)</p> <p>・空いてる部屋が民泊になったら不安という話をご近所でも結構聞いていて、民泊に対して、都島区独自でできるかわからないが、不安を持っていることも知って頂きたい。</p> <p>・空家問題とセットで考えるべきテーマだと思う。都島区はそういうストックをうまく活用するというメッセージを出す意味で状況を把握されて次の政策に打っていかれたらいい。</p> <p>【29年度 第3回区政会議】</p>	<p>・本市では、民泊の適正な利用を進めるために、違法民泊に関する相談窓口の設置や違法民泊の取り締まり強化に取り組んでいます。当区としても、広報誌などで相談窓口の周知等に努めてまいります。</p> <p>・また、空家等の対策については、現在、空家相談窓口を開設し、広報についても、区広報誌やHPを活用し、所有者等による空家等の適切な管理に向けた啓発を実施しているところです。</p> <p>・当区への空家に関する相談は、老朽空家等に関する相談が多く、空家所有者への指導、所有者調査等に時間を要しているのが現状ですが、今後、ご意見等をふまえ、空家の所有者に対し活用事例等に関する情報を提供するなど、まちづくりの推進に向け取り組んでまいります。</p>	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
16	H30.3	大森委員 寺川委員	<p>(区将来ビジョン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来ビジョンに描かれていない層がある。青少年でもない、子育て世代でもない、18から20代前半ぐらいにかけての層。子育てに関わりがない、子どもを持っていない層をどのようにまちづくりの中に取り入れていくか。つながりがとりにくい人、まちづくりに具体的に関わっていない人がすごく多いと思う。その人にどうやって市政を広報していくか方向性が見えるといい。 ・都島区という魅力がもっと表に出てくるような表現とか見せ方もあっていい。 ・何々の実施とか何々を検討する、連携を進めますという言葉が多いが、これはどこでも書けることなので、もう一步踏み込んで都島区としてはこれをやりたいというのが幾つかあってもいい。 <p>【29年度 第3回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をふまえ、より分かりやすくお伝えできるように、区政会議でお示しました資料を修正いたしました。また、広く区民の皆様からご意見を頂きたく、5月1日から31日までの間、パブリック・コメントを実施いたしました。 ・今後、多様な世代が市政・区政に参画できる仕組みづくり、呼びかけ等を展開していくとともに、都島区の魅力を生かした取組を進めてまいります。 	②	—

※分類

- ①29年度において対応 ②30年度運営方針に反映または30年度に対応予定
 ③30年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他